

第1学年〇組 道徳科学習指導案

平成〇〇年〇月〇日 (〇)

授業者 教諭

- 1 主題名 規律ある態度は自己コントロールから
- 2 ねらい 節度、節制について望ましい生活規律を身に付けることの意味を多面的、多角的に話し合うことを通して自ら進んで規律ある生活を身に付けて送ろうとする態度を育てる。

教材名 「父の一言」 (出典：「彩の国の道徳」(中学校)『自分を見つめて』県教委)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本時は、中学校の内容項目「望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。」に関するものである。

中学校の段階では、入学して間もない時期には、望ましい生活習慣を築いていこうとする気持ちはあるが、やらなければならないことが増えて、様々ないろいろな事がついついおろそかになりがちである。この時期は学年が上がるにつれて、心身ともに著しい発達を見せ、活力にあふれ意欲的に活動できるようになる。しかし、心と体の発達が必ずしもバランスよく成長しているわけではないため、軽はずみな行動によって健康を損なってしまったり、時間や物の価値を軽視してその活用を誤ったりするなど、衝動にかられた行動に陥ることもある。中学生になったという意識も働き、これまで身に付けてきた基本的な生活習慣や防災意識、交通安全等の安全に関する活動に対し、ためらったり、軽く考えたりすることも見られる。また、これまで身に付けてきた基本的な生活習慣に対して、意図的に反発や抵抗を示すことも見られる。

指導に当たって、時間を守る事、物を大切に扱う事、望ましい生活習慣を身に付けることなどが、充実した人生を送って行く上で大切であることなどを、生徒自らが自覚できるようにしたい。さらに、改めて基本的な生活習慣の意義について考え、基本的な生活習慣を身につけることは単に日々の生活の問題にとどまるものではなく、自らの生き方そのものの問題であり、人生を豊かなものにするものであることを理解させたい。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

学級の実態 アンケートの結果 埼玉県学力状況調査より (できた・だいたいできたの割合)

	1年〇組 男女別 クラス	1学年	埼玉県1学年
靴そろえができています	男子100% 女子100% クラス100%	97.4%	92.5%
身の回りの整理整頓ができています	男子82% 女子100% クラス91%	88.2%	88.2%
あいさつができています	男子100% 女子100% クラス100%	86.8%	84%
返事ができています	男子100% 女子100% クラス	96.1%	89.4%

	ス100%		
話を聞き発表することができる	男子91% 女子83% クラス87%	75%	74.8%

これまで、学校教育目標である「自ら学ぶ・思いやる・体を鍛える」を基に、学級目標を「本気で真剣に学び 笑顔で男女仲良く 何事にも努力するクラス」とし、「心温まる優しさと笑顔があふれるクラス」をスローガンに掲げ、目標達成に向けて学級一丸となって活動してきた。特に、行事を通して成長できる学級を目指している。

5月下旬に行われた体育祭では、学年優勝。さらに、団対抗の応援合戦で、応援賞を獲得した。この体育祭を通して、学級の絆が芽生えてきて、仲間の大切さに気づき始めた。10月下旬に行われた合唱祭では、金賞を受賞し、本気で真剣になって取り組む大事さ、笑顔で仲良くすることで絆が深まるということに気付くことができた。その結果、本学級は、男女の仲が良く、日頃から落ち着いた生活を送っている。また、明るく前向きな発言ができる生徒も多く、話し合いにおいても、意見を言いやすい雰囲気がある。しかし一方で「整理整頓ができない」「忘れ物が多い」等、望ましい生活習慣に課題がある生徒もいる。

埼玉県学力状況調査の学級の調査結果から見ると、基本的な生活習慣は、数値としては高い結果である。全体的に女子がしっかりと取り組んでいることもわかる。ただ、これは、家庭での生活習慣と限定しているわけではない。そこで本時は、話し合いを通して、自ら進んで規律ある生活を身に付けていこうとする態度の育成に迫っていきたい。また、発表することがとても苦手な生徒も多いため、発言しやすい雰囲気と、意図的指名やグループ活動を使い、授業を進めたい。

(3) 教材の特質と活用方法について

本教材は、うっかりミスから中間試験で思ったような点数がとれなかった主人公が、父から靴をそろえることができないからテストでも思うようにできないのだと言われる。その時、主人公は父の一言を納得できず靴をそろえることとテストの成績は関係ないと反論する。主人公は、以前にも同じような注意をテニス部の顧問の先生に言われたことを思い出す。その後、主人公は、靴をきちんとそろえて生活するようになる。本教材は、基本的な生活習慣などの定着、励行をねらいとしている。主人公の行為や習慣を生徒に一つの模範例として受け取らせ、また、その行為や習慣に含まれるよさや意義を考え、感じ取ることができるように活用していく。

そこで、本時の学習では、以下の場面で自分の考えの可視化を図ったり、グループ学習を取り入れるなどしてねらいとする道徳的価値に迫っていく。

- ①父の一言に反論する主人公の気持ちについて考える。
- ②父の一言を自分は理解できるかどうか考え、発表し、自分の考え方を深め、広める。
- ③主人公が靴をきちんとそろえて生活するようになったことについて話し合う。

以上のことから、本主題を設定した。

4 学習指導過程

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点及び評価の視点（☆） 〔考え、議論する道徳授業〕（主体的で対話的な深みのある学習）へのアプローチ ⑩
導入	1 本時の道徳的な問題について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 靴が散乱している。 靴がきちんとそろえられていない。 きちんとそろえるべき。 	◎靴が散乱している写真を提示し、道徳的な問題を自分自身の身近なこととして捉えられるように工夫する。（主体的な学習）
展開	2 「父の一言」の範読を聞き、教材について理解する。 3 教材をもとに道徳的な問題について考え話し合い、考えを広め深める。 ① 父に「靴をそろえることができない。だからテストでも思うようにできないんだ。」と言われて私は心の中でどう言い返しているか。 ② 父はなぜ靴をそろえることが大事と言っているのか。 ③ 靴をそろえることと成績は関係があると思うか。それとも関係がないと思うか。	<ul style="list-style-type: none"> むかつく。 いつも何も言わないくせに。 靴をそろえることとテストは関係ない。 そんなこともできないやつにたいしたことができない。 自分はそうやってしっかり仕事することができた。 ○関係ない <ul style="list-style-type: none"> 勉強と靴を並べるとは関係ないと思う。 靴を並べたからと言って成績が上がると思わないから。 ○関係ある <ul style="list-style-type: none"> 自分のやるべきことができないと勉強もできないから。 普段からしっかり生活しないと勉強にも集中できないから。 当たり前のことだから 父や先生に注意されたから。 靴をそろえることは<u>人として当たり前のこと</u>だと気づいたから。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物、概要を提示してから範読する。 靴をそろえることと成績は関係ないという私に十分共感させる。 父の気持ちを押さえる。 自分をコントロールする人間になれる。 ◎靴をそろえることと成績は関係あるか、関係ないかという投影的な発問を投げかけ、各自に考え判断させ、その理由をワークシートに記入させる。（主体的な学習） ◎それぞれの理由を発表させて考え方を交流させ、考えを広め深めさせる。 （対話的な学習・深みのある学習） ☆自分の生活の在り方を振り返り、自分の考えを明確にし、ワークシートに記入している。 ワークシートに記入する時間をしっかり確保する。 切り返し発問を通して、生徒の考えを揺さぶり、深められるようにする。 写真はずす。 ◎あいさつや服装、靴をそろえることを今でも続けているのはどうしてだろうかという分析的な発問をし、グループ学習（4人一組）で、それぞれの考えを発表させ、話し合わせる。
閉	④ 先生からも父と同じようなことを言われた私は色々考えたであろう。私が、今もあいさつや靴そろえ		

	を続けているのはどうしてか。 ⑤ 自分のこととして、気づいたこと、考えたことを書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> • どんない些細なことでもやるべきことをしっかりやらないといけなと気づいたから。 • 父の生き方をまねして。 • 自分の生活を変えたいと思っているから。 • 少しでも、人として成長したいから。 <ul style="list-style-type: none"> • 人としてやるべきことをしっかりやることは、すべての生活の仕方に深く関わっているの、靴をそろえたり、時間を守って生活したりしていきたい。 • 身の周りの整理整頓。 	(対話的な学習・深みのある学習) <ul style="list-style-type: none"> • 話し合い後、どんな考えが出たかを発表させる。 • あいさつや服装、靴をそろえることは、その人の生活の在り方であり、人間としての生き方に深く関わっていて、自己コントロールにつながることに気づかせる。 ☆望ましい生活習慣を身に付けることが、充実した生活を送るうえで欠くことのできないことであることに気づいている。
終末	4本時のまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>心が変われば 行動が変わる 行動が変われば 習慣が変わる</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • ねらいに関わる松井秀喜の座右の銘を紹介してまとめる。

5 他の教育活動等との関連

事前指導	学活で「規律ある生活」について、生徒の実態を把握するためにアンケートを実施する。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> • 教材名 「父の一言」 節度、節制について望ましい生活習慣を身に付けることの意味を多面的、多角的に話し合うことを通して、自ら進んで規律ある生活を送ろうとする態度を育てる。
事後指導	規律ある生活についての話題(新聞記事等)を扱う。
家庭との連携	本時の授業内容や生徒の感想を学級通信で紹介し、家庭でも「規律ある生活」等について話題にしよう。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- 主人公の気持ちについて深く考え、自分の言葉で表現している。
- 他者の話に耳を傾け、自分の考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めていく様子】

- 主人公の変容に気づき、これからの自分の生き方につなげていこうと考えている。